

## 揺れない海岸地すべりの一例

土井一生<sup>1</sup>・松浦純生<sup>1</sup>・柴崎達也<sup>1,2</sup>

大澤光<sup>1</sup>・佐藤北斗<sup>1</sup>

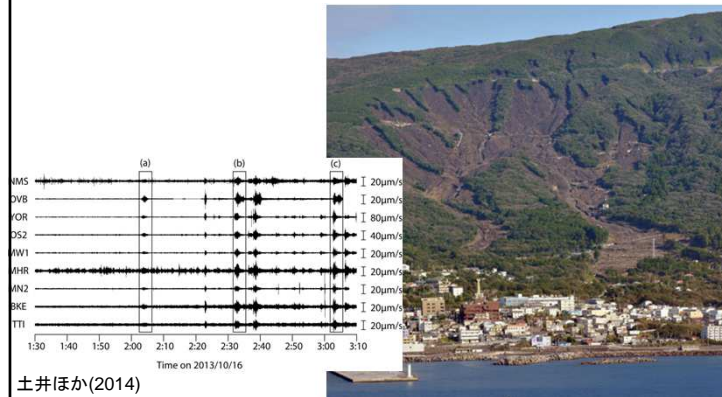
(<sup>1</sup>京都大学防災研究所、<sup>2</sup>国土防災技術株式会社)

謝辞: 国土防災技術株式会社の土佐信一氏にはデータ取得で多大な協力をいただきました。

## 地震観測の狙い

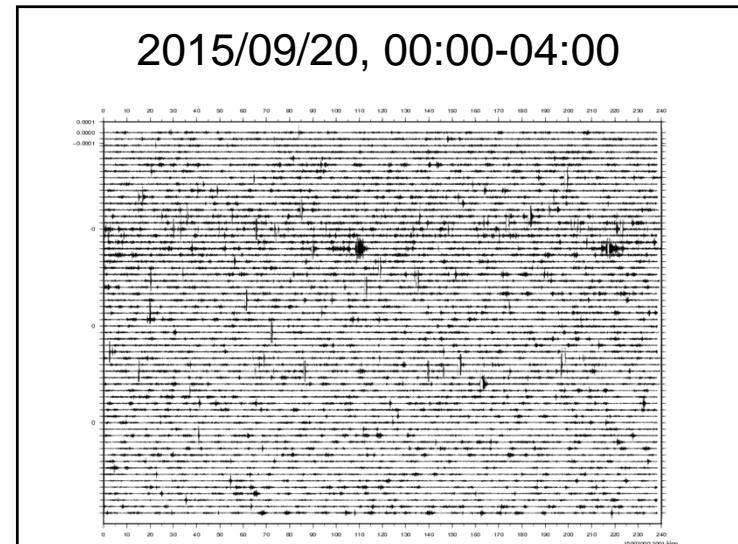
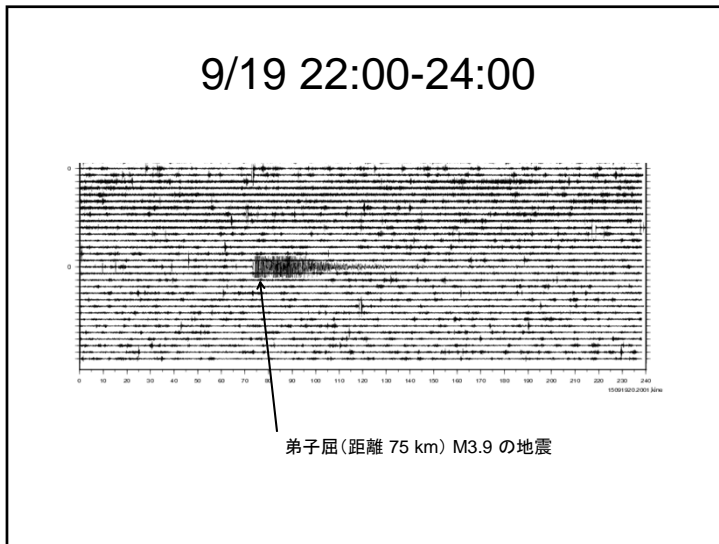
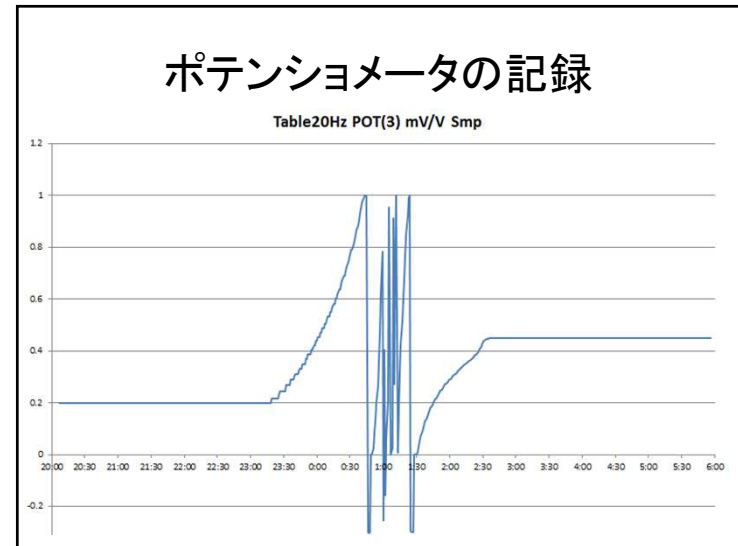
- ✓ 地震時の地すべりの安定性評価  
将来の地震時にどのように揺れるか  
静的・動的な間隙水圧と安全率の変化・変動量の予測
- ✓ 地すべりを引き起こすファクターは何か  
加速度: 働く力に比例(→安定計算に使用)  
速度: ひずみ(変位の空間微分)と位相が一致  
2乗が運動エネルギーに比例

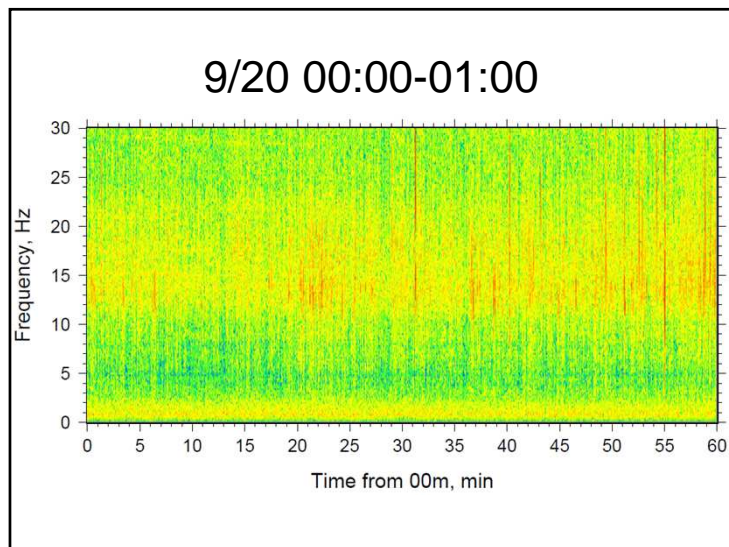
## 2013年伊豆大島斜面崩壊に伴う 地震動記録



## 地震計の場所と 設置環境







## まとめ

- 北海道厚岸町の海岸地すべりで台風に伴う大雨により 10 m 以上の変位を生じる地すべりが発生した。
- 地すべりブロックには地震計が設置されていたが、地すべりの変位に伴う顕著な揺れは確認できなかった。
- 地すべりに伴う地震動の発生には何らかの条件が必要である。